

発行日： 2013年10月10日

整理No： 45F-10-001

西武運輸(株)

殿

## 協力工場 不良品連絡書

再発防止のため対策を記入の上、指定回答日までに原本を提出して下さい。

指定回答日： 2013年10月18日

承認

調査

担当



仕様番号 502493-0028

品名 2.0 W/B CONN. SIGNAL R/A REC. TERMINAL

ロットNo 130925.A.03,130925.1.03

連絡受理日 2013/10/10 10:16:34

対象数量 194,000

不良内容

ブラリールの縁部の損傷



1. 確認内容

返却品の処置 (数量明記)

別紙明細の通り

2. 発生原因

4. 流出原因

別紙明細の通り

別紙明細の通り

3. 発生防止対策

5. 流出防止対策

別紙明細の通り

別紙明細の通り

実施日： 25年 10月 15日

実施日： 25年 10月 15日

在庫品仕掛品の確認

在庫品

仕掛品

なし

なし

回答日： 25年 10月 16日

承認

調査

作成

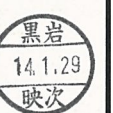
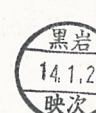


標準類改訂 有・(無) ( )

承認

調査

確認者



対策後 13.10.15.1.01~13.11.29.A.05の音+5ロットにおいて、同不具合が無い為、有効か否と判断致します。

(株) 鈴木

Rev : A

SQM-10010-4



(株) 鈴木 記入

協力工場 是正処置 記入

(株) 鈴木 確認





## 輸送事故報告書

件名	アイデックス株式会社 様向け製品破損事故について						
発送年月日	平成25年10月4日(金)		発生場所		運行車両荷台/ホーム上(長野～盛岡)		
事故発生日	平成25年10月5日(土)		伝票No.		983-118-3672		
事故内容	手荷役作業時の衝撃による破損	個数重量	4個	80kg	破損個数重量	2個	40kg
荷受人住所/氏名	秋田県鹿角市十和田山根字上ノ原1 アイデックス株式会社 受入れ様						
輸送経路	①貴社⇒②長野(営)⇒③長岡(営)⇒④仙台センター⇒⑤盛岡(営)⇒⑥赤帽(協力会社)⇒⑦荷受人様						
概要	<p>○10/4(金)上記内容にて貴社より当該製品4個をお預かりし上記輸送経路にて輸送を行う。</p> <p>○10/5(土)盛岡営業所に到着、同日配達を委託する中継会社赤帽県北支店に引き渡しを行う。</p> <p>○10/7(月)アイデックス(株)様へ納品を完了する。</p> <p>弊社最終到着店盛岡営業所並びに、配達担当者は貴社製品特性及び取扱い注意事項の認識があり荷崩れ落下及び手荷役作業時の落下衝撃が無かった事を確認する。</p> <p>荷受人様納品時には外装確認を行い、外装異常がなかった事から納品を完了させる。</p> <p>当該製品の輸送に於いて、各継走店からの異常報告はなく、長岡営業所及び仙台センターで防犯カメラによる確認を行うも、ホーム上での落下発生が無かった事を確認する。</p> <p>又、各運行乗務員に荷台内での荷崩れ有無の確認を行うも、各乗務員ともに荷崩れ発生はなかった事を確認する。</p>						
処置							
原因	<p>○輸送経路に於いて落下及び荷崩れがなく、製品リールの破損状況から運行車両荷台若しくはホーム上での手荷役作業時に床面に製品を接触させた時に衝撃を与え、製品リールを破損させたものと断定する。</p>						
是正対策	<p>○手荷役作業を発生させないようパレタイズ梱包を施し輸送を行うよう改善致します。</p> <p>パレタイズ荷姿での輸送は発送店から配達店迄の間で行います。</p> <p>○発送店及び各継走店ではハンドリフトを使用し積替えを行う為、製品積み降し時の接触破損防止及び車両荷台内での荷崩れ防止措置を周知徹底致します。(コンパネ・ベニヤ・ラッシング)</p> <p>○流出防止に対し異常発生時及び発見時は弊社エスカレーションルールを再徹底致します。</p> <p>○周知方法として作業開始前の各店朝礼時及び夕礼時管理責任者より本件事故事例を水平展開し認識させ防止対策及び取扱い注意事項に関し注意喚起を行います。</p>						
スケジュール	<p>○パレタイズ梱包を施し輸送・・・10/15より実施</p> <p>○接触破損防止及び車両荷台内荷崩れ防止措置の周知</p> <p>・・・長野(営)・長岡(営)・仙台センター・盛岡(営) 10/15(火)～10/16(水)実施</p>						
本件製品事故発生により、貴社並びに、関係各位に対し多大なるご迷惑をお掛けしました事、深くお詫び申し上げます。							
今後は、上記対策を講じ再発防止に努めて参ります。							